

野 蒜 市 民 セ ン タ ー	参加議員	小野幸男、大橋博之、滝 健一、石森晃寿、手代木せつ子		
	参加市民	17人		
		要 望 意 見 等	回 答 状 況	
	市 政 に 関 す る こ と	①仮設住宅の状況について	83戸まで減少した。	
		②野蒜ヶ丘の空き区画について	確認後報告。	
		③下水道料金の値上げについて	今年度 50 円/m ³ 値上げする。平成 32 年度に赤字が解消する。	
		④野蒜駅周辺のトイレ整備について	執行部に申し入れる。	
		⑤新東名の側溝整備について	執行部に申し入れる。	
		⑥コミュニティ・スクールについて	調査後報告する。	
		⑦上下水道と下水道料金の未納について	法律の改正が必要であり、国に働きかける。	
		⑧奥松島の観光について	宮城オルレの利活用が望まれる。	
		⑨宮戸地区の水田の復旧はあるのか	県の整備計画により再開する。	
		⑩野蒜ヶ丘の街灯が少ない	調査し回答する。	
⑪未来中通学路の安全対策について		国と協議している。		
⑫鳴瀬川の堆砂について		国交省が定期的に見守っている。		

なお、当日のアンケートの概要は、次の通りです。

- 1 来場数およびアンケート数
来場数 35 人
アンケート数 31(矢本西 5 人、大曲 9 人、野蒜 17 人)
- 2 年齢等
40～50 代が 8 人
60 代以上が 21 人
無回答が 2 人(男性 26 人、女性 5 人)
- 3 議会懇談会への期待
議会活動状況、意見交換、市の事業への要望
- 4 報告内容
解りやすかった 62%
どちらともいえない 20%
- 5 議会懇談会の会場数
市内 3 カ所 20%
市内 8 カ所 42%

また、自由意見をいただきましたもののうち、テーマについてお聞きしました。

- 1 議会改革等内部的なもの
- 2 議会の役割の基本
- 3 地域の現状と課題
- 4 コミュニティスクールの運営、地域と学校との話
- 5 少子高齢化対策
- 6 交流人口の復興、震災の伝承
- 7 将来的なビジョン
- 8 地域コミュニティ活性化の方策
- 9 各地域に特化した議会活動の現状

皆さんの意見を議会活動等に反映させるべく活動をしてまいります。今後も報告会等、議会活動にご協力よろしくお願い致します。

友好都市 大田区(東京都)との議員交流事業

10月15日～16日まで、阿部議長と産業建設常任委員会委員6名は、友好都市大田区を訪問し、議員交流事業を行った。その内容は①蒲田駅前広場で東松島産品販売支援②大田観光情報コーナー見学③おたかい観光展 2017 見学④物流ターミナル羽田クローゲート見学⑤大田区議会議員との懇談会⑥産業連携支援施設視察⑦大田区立障がい者総合サポートセンターさぼーとぴあ見学⑧大田区議会本会議傍聴⑨大田区役所内ペーパラボ見学と盛りだくさんであった。

この交流事業に参加しての感想は、優れた立地環境を活かした大田区のものづくりのこだわりや姿勢に感銘を受けた事、また、特区を活用した観光戦略に学ぶ所があったことである。

大田区議会議員との交流を今後さらに密にし、東松島市の産品を首都圏という巨大マーケットでいかに流通させるかという課題をクリアするヒントを得たいと考えている。

友好都市東松山市との交流事業

11月3、4日の2日間議員派遣における民生教育常任委員会委員による交流事業を実施した。

初日、東松山市の市を挙げてのスリーデーマーチが開催されており、多くの参加者で賑わう中、震災後、多くの支援を頂いてきた東松山市であるが、特に現在放課後児童クラブ施設等に使用されているプレハブの支援を頂いたポッシュ社の会場ブースを訪ねての表敬を行なった。また、東松山市役所において東松山市議会との意見交換では、本市委員より震災の対応、復興の現状や課題が述べられ、それに対して多くのものを学ぼうとする東松山市議員の熱い思いが感じられた。

翌日、5kmウォーキングのイベントに参加、東松山市の一大観光イベントを肌で感じるとともに、本市PRのため汗を流す本市の海産物販売ブースや大曲浜獅子舞の民間交流事業における市民の皆様の頑張る姿に、改めて敬服し民間交流の大切さを感じるものであった。



▲スリーデーマーチに参加(5km)